

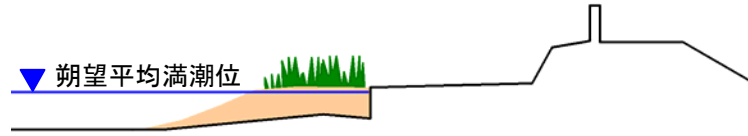
自然環境の保全・向上のイメージ（案）

干潟の創出



水制工等により土砂堆積を促し干潟を創出することで、生物多様性の回復、親水性の向上に努める。

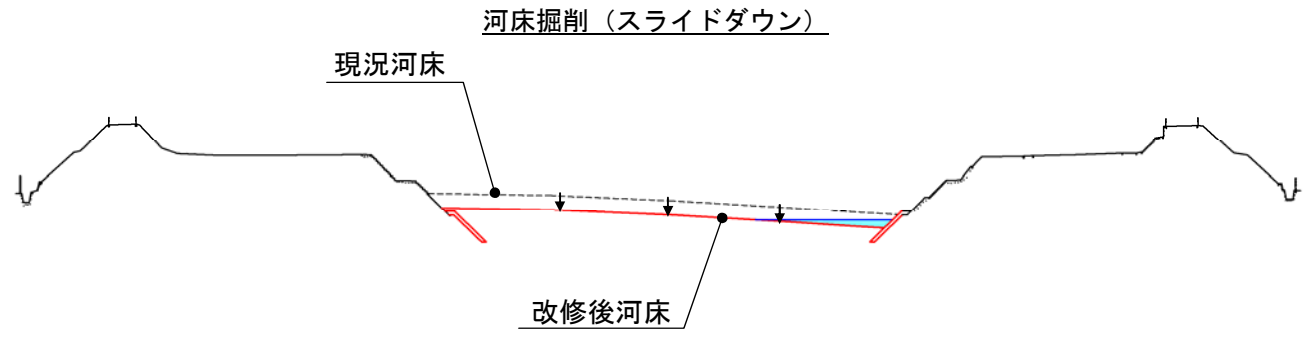
植生帯の創出



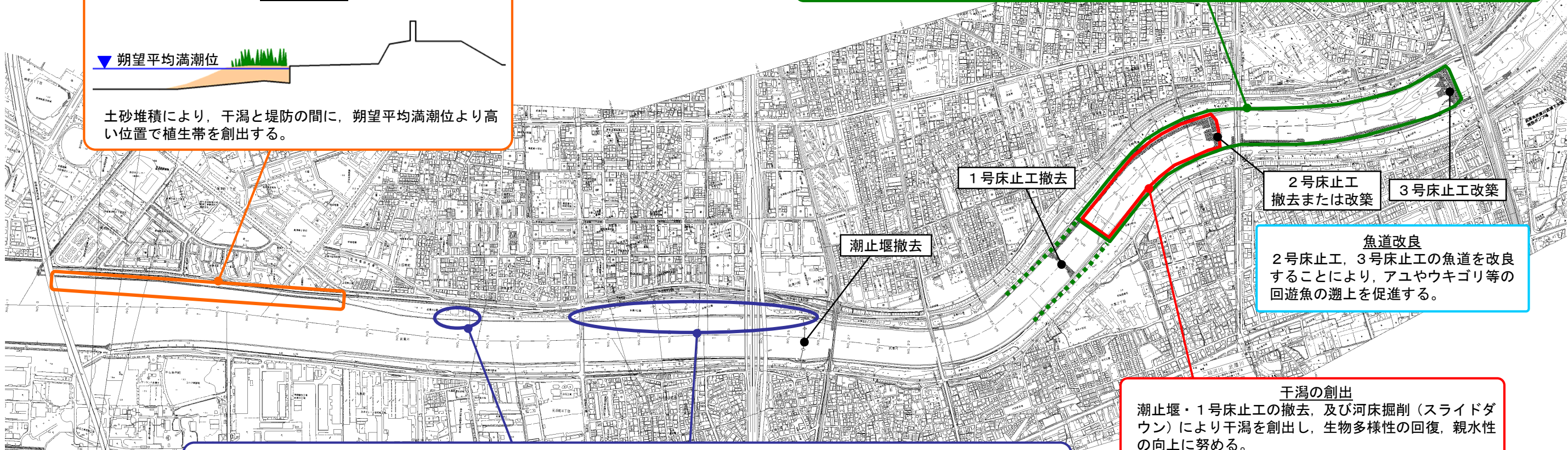
▼ 朔望平均満潮位

土砂堆積により、干潟と堤防の間に、朔望平均満潮位より高い位置で植生帯を創出する。

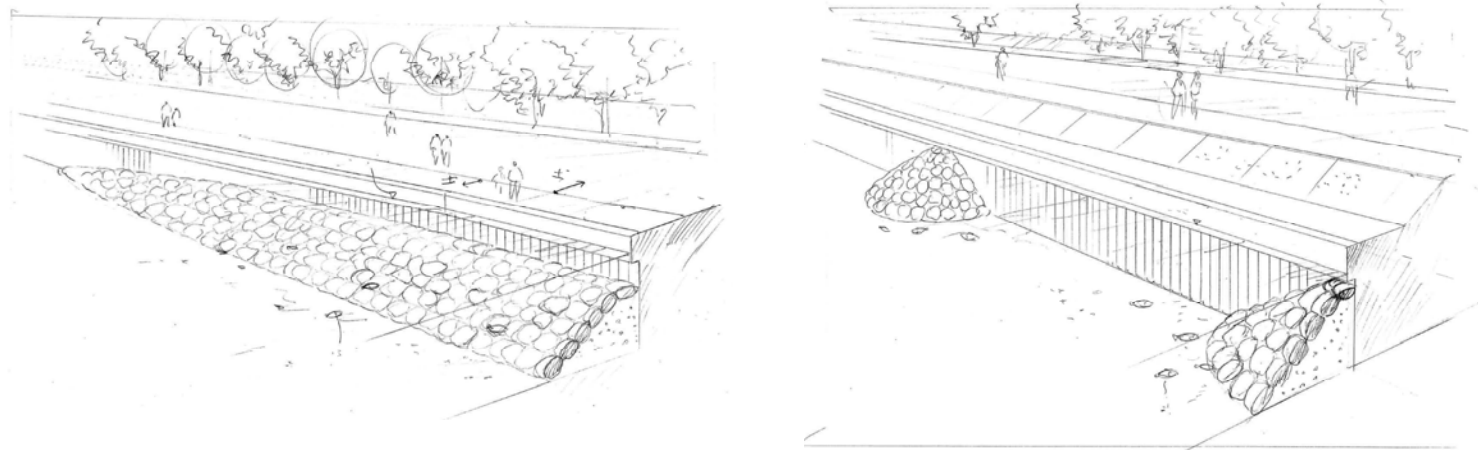
河床掘削（スライドダウン）



河床掘削は、現況の河床形状（滞筋）を維持してスライドダウンすることにより、砂礫地や砂州の再生（保全）に努める。



生物の生息・生育環境の創出



右岸の低水路拡幅区間において、矢板前面に捨石を配置するなどにより、生物の生息・生育環境の創出に努める。

干潟の創出

潮止堰・1号床止工の撤去、及び河床掘削（スライドダウン）により干潟を創出し、生物多様性の回復、親水性の向上に努める。

魚道改良

2号床止工、3号床止工の魚道を改良することにより、アユやウキゴリ等の回遊魚の遡上を促進する。

※ 2号床止工改築の場合

改修後の潮位の影響範囲（干潟創出区域）説明図

（潮止堰・1号床止工撤去，河床掘削（スライドダウン）実施後）

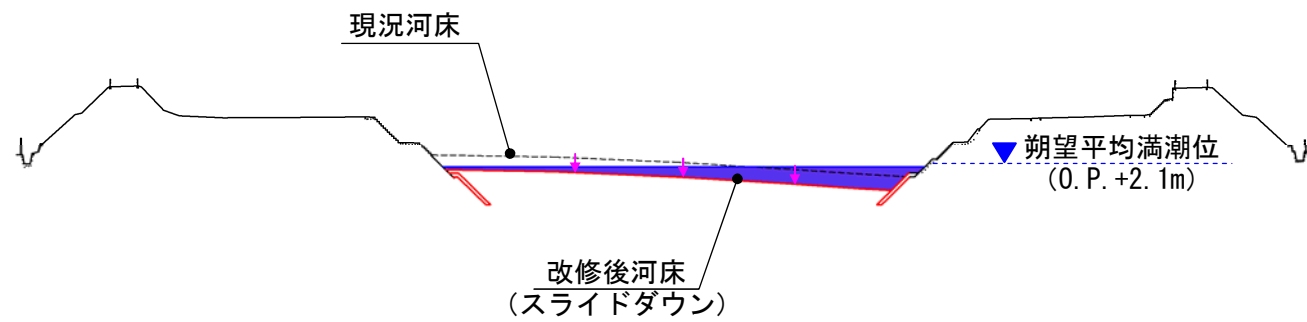
1号床止工上流付近平面図【満潮時】



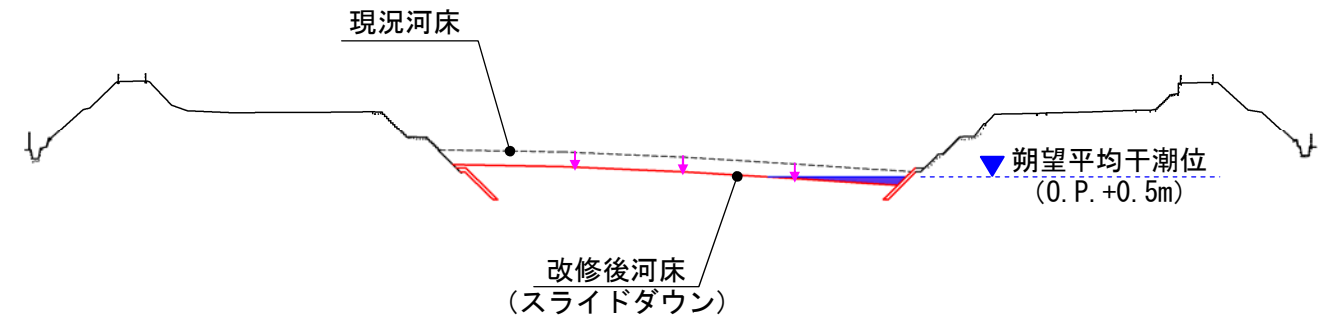
1号床止工上流付近平面図【干潮時】



No. 39 地点横断面図【満潮時】



No. 39 地点横断面図【干潮時】



※ 2号床止工改築の場合



親水機能の保全・向上のイメージ（案）

水際部を階段状に変更
 矢板護岸改築に併せ、水際部を階段状にして座りやすくし、水面への近接感の向上を図る。

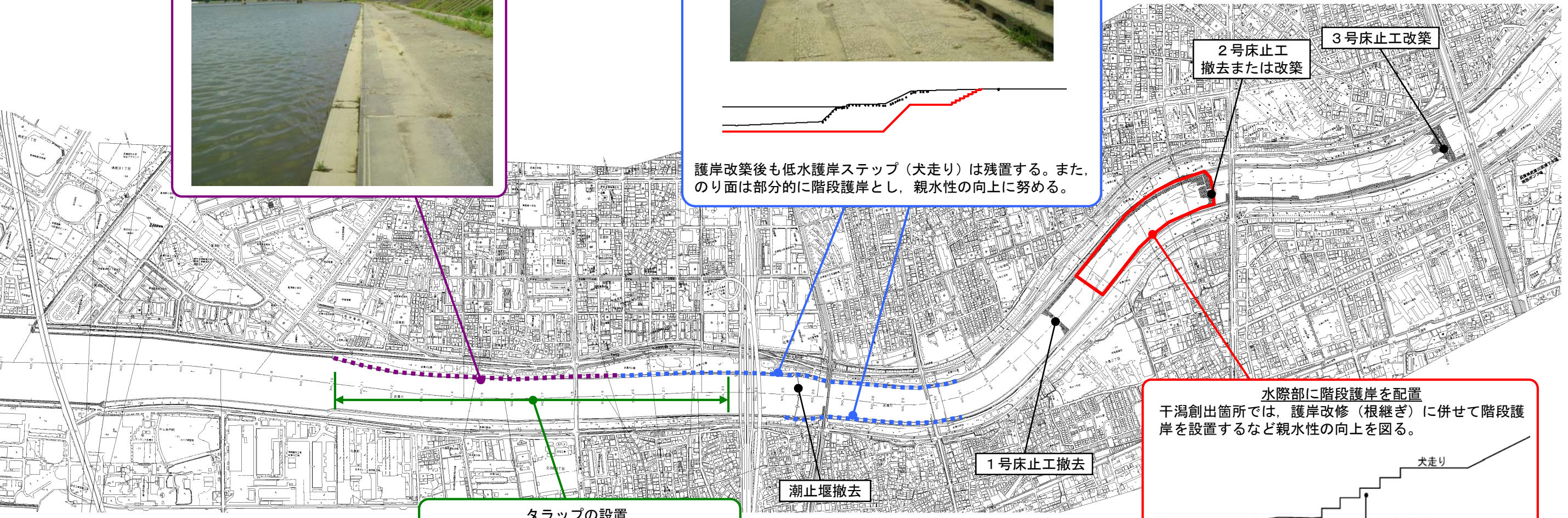
水際部イメージ



低水護岸ステップ（犬走り）および階段護岸の設置

護岸改築後も低水護岸ステップ（犬走り）は残置する。また、のり面は部分的に階段護岸とし、親水性の向上に努める。



2号床止工撤去または改築

3号床止工改築

1号床止工撤去

潮止堰撤去

トラップの設置
 河道内への昇降が可能となるよう、50m ピッチ程度でトラップを設置する。



水際部に階段護岸を配置
 干潟創出箇所では、護岸改修（根継ぎ）に併せて階段護岸を設置するなど親水性の向上を図る。



犬走り

階段護岸

階段護岸イメージ



※ 2号床止工改築の場合